Ⅳ　供用中の道路等の概要

1　播但連絡道路

目　　的　　播磨の中心都市である姫路市と、観光資源に富む但馬地域を結ぶ幹線道路で、国道312号の交通緩和を図り、住民福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。

路　線　名　　一般国道312号

〔砥堀～和田山区間〕（播但連絡道路１．３．４．５期）

区　　間　　姫路市砥堀から朝来市和田山町加都まで

延　　長　　55.5㎞

事　業　費　　1,365億2,723万円

（内訳）

（単位：千円）

期　　間	政　府 貸付金	県出資金	県貸付金	公営企業金融 公庫借入金	民　間 借入金等	自己資金	合　　計
１期（Ｓ45～Ｓ49）	2,025,000	1,296,000	0	2,675,000	7,504,000	0	13,500,000
３期（Ｓ49～Ｓ57）	3,783,500	2,511,500	2,725,000	3,472,500	1,397,500	0	13,890,000
４期（Ｓ60～Ｈ３）	7,525,000	5,375,000	5,375,000	3,225,000	0	0	21,500,000
５期（Ｈ６～H12）	43,500,000	30,450,000	0	13,050,000	0	0	87,000,000
ETC　（H19～H20）	424,819	0	0	0	0	212,410	637,229
計	57,258,319	39,632,500	8,100,000	22,422,500	8,901,500	212,410	136,527,229

設計速度　　砥堀・福崎区間　　80㎞/h

福崎・生野北区間　　60㎞/h

生野北第２・和田山区間　80㎞/h

道路の規格　　砥堀・福崎区間　　第１種第３級

福崎・生野北区間　　第１種第４級

生野北第２・和田山区間　第１種第３級

車道の幅員　　砥堀・福崎区間　　14.0ｍ（４車線）

福崎・生野北区間　　6.5ｍ（２車線）

生野北第２・和田山区間　7.0ｍ（２車線）

路面の種類　　アスファルトコンクリート舗装

許可年月日　　昭和45年９月７日

建設期間　　昭和45年度から昭和57年度まで

昭和60年度から平成３年度まで

平成６年度から平成12年度まで

平成17年度から平成20年度まで

供用開始　　昭和48年11月１日〔砥堀・福崎区間　延長10.2㎞〕

昭和50年11月１日〔福崎・市川北区間　延長9.2㎞〕

昭和57年９月28日〔市川北・神崎北区間　延長10.7㎞〕

昭和63年11月１日〔福崎・神崎北区間（改築）〕

平成４年３月26日〔神崎北・生野北区間　延長8.2㎞〕

平成12年５月27日〔生野北第２・和田山区間　延長17.2㎞〕
平成12年９月25日〔生野北第１Ｒ〕
平成18年６月１日　無線ETC供用（砥堀、福崎南Ｒ、和田山Ｒ）※
平成20年３月28日　〃　（福崎北Ｒ）
平成21年３月27日　〃　（船津Ｒ）
平成28年３月26日　〃　（市川南Ｒ、神崎南Ｒ）
※播但連絡道路のＥＴＣについては、平成17年度に維持費対応で砥堀・福崎南・和田山の３料金所の整備を行っている。

徴収期間　播但連絡道路及び播但連絡道路（２期）
換算起算日から40年以内とする（平成44年10月21日まで）
適用法令　道路整備特別措置法

〔姫路ＪＣＴ～砥堀区間〕（播但連絡道路２期）

区間　姫路市豊富町御蔭から姫路市的形町的形まで
延長　9.6㎞
事業費　456億5,877万円
（内訳）

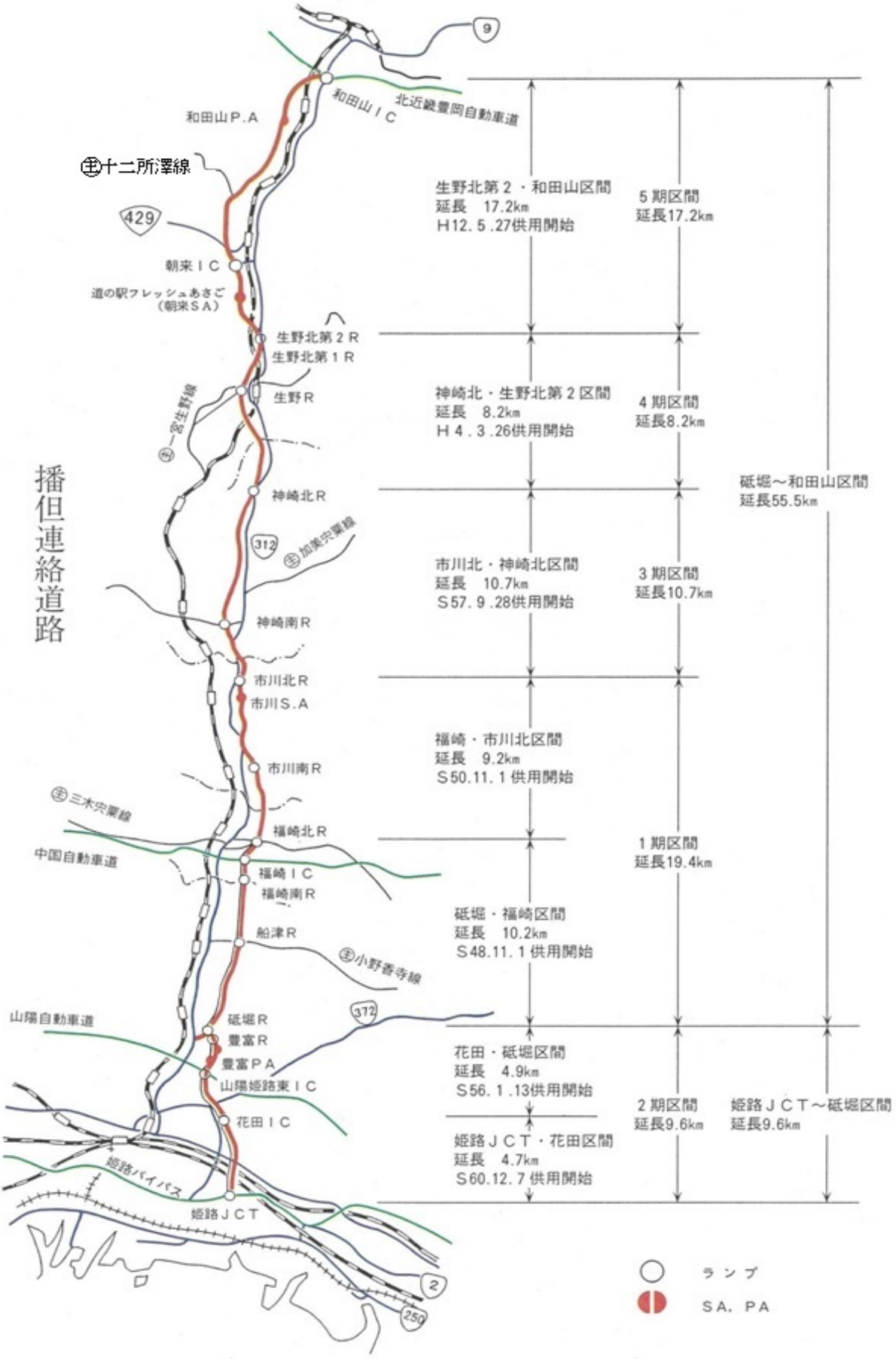
（単位：千円）

期間	政府貸付金	県出資金	県貸付金	公営企業金融公庫借入金	民間借入金等	自己資金	合計
２期（S49～H12）	15,797,000	11,056,500	4,915,250	7,883,750	5,347,500	0	45,000,000
ETC（H19～H20）	439,181	0	0	0	0	219,590	658,771
計	16,236,181	11,056,500	4,915,250	7,883,750	5,347,500	219,590	45,658,771

設計速度　80㎞/h
車道の幅員　14.0ｍ（４車線）
道路の規格　第１種第３級
路面の種類　アスファルトコンクリート舗装
許可年月日　昭和47年12月16日
建設期間　昭和47年度から昭和60年度まで
平成２年度から平成５年度まで
平成17年度から平成20年度まで

供用開始
昭和56年１月13日〔花田・砥堀区間　延長4.9㎞〕
昭和60年12月７日〔姫路ＪＣＴ・花田区間　延長4.7㎞〕
平成５年７月23日〔姫路ＪＣＴ・砥堀区間４車拡幅〕
平成６年３月24日〔豊富ランプ〕
平成18年６月１日　無線ETC供用（花田（本線））※
平成20年３月28日　〃　（花田（均一）、花田（対距離））
平成21年３月27日　〃　（豊富Ｒ）
※播但連絡道路のＥＴＣについては、平成17年度に維持費対応で花田本線料金所の整備を行っている。

徴収期間　播但連絡道路及び播但連絡道路（２期）
換算起算日から40年以内とする（平成44年10月21日まで）
適用法令　道路整備特別措置法


播但連絡道路
9
和田山P.A
和田山IC
北近畿豊岡自動車道
(主)十二所澤線
429
朝来IC
道の駅フレッシュあさご
(朝来SA)
生野北第2R
生野北第1R
生野R
(主)一宮生野線
神崎北R
312
(主)加美宍粟線
神崎南R
市川北R
市川S.A
市川南R
(主)三木宍粟線
福崎北R
中国自動車道
福崎IC
福崎南R
船津R
(主)小野香寺線
山陽自動車道
372
砥堀R
豊富R
豊富PA
山陽姫路東IC
花田IC
姫路バイパス
姫路JCT
2
250
生野北第2・和田山区間
延長 17.2km
H12.5.27供用開始
5期区間
延長17.2km
神崎北・生野北第2区間
延長 8.2km
H4.3.26供用開始
4期区間
延長8.2km
砥堀～和田山区間
延長55.5km
市川北・神崎北区間
延長 10.7km
S57.9.28供用開始
3期区間
延長10.7km
福崎・市川北区間
延長 9.2km
S50.11.1供用開始
1期区間
延長19.4km
砥堀・福崎区間
延長 10.2km
S48.11.1供用開始
花田・砥堀区間
延長 4.9km
S56.1.13供用開始
2期区間
延長9.6km
姫路JCT～砥堀区間
延長9.6km
姫路JCT・花田区間
延長 4.7km
S60.12.7供用開始
ランプ
SA, PA

料 金 表

姫路 JCT	100 100 110	100 150 170	150 210 240		260 310 350	310 410 520		410 510 580	510 620 760	570 720 820	670 870 1,050	770 980 1,170		820 1,030 1,220	930 1,130 1,390	1,130 1,440 1,690
160 310 4.7km	花田	50 50 50	100 100 110		150 210 240	260 310 350		310 410 460	410 510 650	460 620 700	620 770 930	720 870 1,050		770 930 1,110	820 1,030 1,280	1,030 1,340 1,570
220 410 6.6km	50 100 1.9km	山陽 姫路東	50 50 60		100 150 170	210 260 350		260 360 410	360 460 580	460 570 650	570 720 870	670 820 980		720 870 1,050	820 980 1,220	1,030 1,290 1,520
330 570 9.6km	160 310 4.9km	110 210 3.0km	豊富													
				砥堀	50 100 110	150 210 240		210 260 350	310 410 460	360 460 580	510 670 760	620 770 930		670 820 980	770 930 1,110	980 1,180 1,460
490 820 13.7km	330 570 9.0km	280 410 7.1km		160 260 4.1km	船津	100 100 110		150 210 240	260 310 410	310 410 460	460 570 650	510 670 820		570 720 870	670 820 980	870 1,130 1,340
710 1,130 18.7km	490 870 14.0km	440 720 12.1km		330 570 9.1km	160 310 5.0km	福崎南										
							福崎北	50 50 110	150 210 240	210 260 350	360 460 520	460 570 650		510 620 760	570 720 870	820 980 1,220
820 1,340 22.0km	660 1,080 17.3km	540 930 15.4km		440 770 12.4km	330 510 8.3km		110 210 3.3km	市川南	100 150 170	150 210 240	310 360 460	360 460 580		460 570 650	510 670 820	720 930 1,110
1,040 1,700 27.9km	870 1,440 23.2km	770 1,290 21.3km		660 1,130 18.3km	540 870 14.2km		330 570 9.2km	220 360 5.9km	市川北							
1,150 1,900 31.2km	990 1,650 26.5km	930 1,490 24.6km		820 1,340 21.6km	660 1,080 17.5km		440 770 12.5km	330 570 9.2km		神崎南	150 150 170	210 260 350		260 360 410	360 460 520	570 720 870
1,430 2,370 38.6km	1,260 2,060 33.9km	1,200 1,950 32.0km		1,100 1,800 29.0km	930 1,540 24.9km		710 1,230 19.9km	610 1,030 16.6km		280 460 7.4km	神崎北					
1,590 2,670 43.6km	1,430 2,370 38.9km	1,370 2,260 37.0km		1,260 2,110 34.0km	1,100 1,850 29.9km		930 1,540 24.9km	820 1,340 21.6km		440 770 12.4km		生野				
													生野北 第1	50 50 50	100 100 170	310 410 460
1,690 2,830 46.5km	1,530 2,570 41.8km	1,480 2,470 39.9km		1,370 2,260 36.9km	1,200 2,010 32.8km		1,040 1,700 27.8km	870 1,490 24.5km		540 930 15.3km			50 50 0.5km	生野北 第2		
1,920 3,140 51.5km	1,690 2,880 46.8km	1,640 2,780 44.9km		1,530 2,570 41.9km	1,370 2,310 37.8km		1,200 2,010 32.8km	1,100 1,800 29.5km		770 1,230 20.3km			220 360 5.5km		朝来	210 260 350
2,350 3,910 63.6km	2,190 3,600 58.9km	2,080 3,500 57.0km		1,970 3,290 54.0km	1,860 3,090 49.9km		1,640 2,780 44.9km	1,530 2,570 41.6km		1,200 2,010 32.4km			660 1,080 17.6km		440 720 12.1km	和田山

〔凡例〕

	軽自動車等
	普通車
	中型車
大型車	
特大車	
区間距離	

沿　　革

播但連絡道路（１，３，４，５期）	播但連絡道路（２期）
①　昭和45年９月７日　（当初許可） 路　線　名　県道屋形福崎線及び 西田原姫路線 区　　間　神崎郡市川町屋形から 姫路市砥堀まで 延　　長　19.6km 事　業　費　123億円 料　　金　普通車　200円 （屋形～福崎 100円、 福崎～砥堀 100円） 料金徴収期間　供用開始の日から23年間 供用開始予定　昭和48年４月１日 （福崎～砥堀） 昭和49年４月１日（全線） ②　昭和46年４月１日　道路管理者から引継ぎ ③　昭和48年８月17日　（第１回変更） 線　路　名　県道姫路市川線 区　　間　姫路市砥堀から 神崎郡市川町屋形まで 事　業　費　135億円 料　　金　普通車　300円 （砥堀～福崎 150円、 福崎～屋形 150円） 供用開始予定　昭和48年11月１日 （砥堀～福崎） 昭和49年11月１日 （福崎～屋形） ④　昭和48年11月１日　砥堀～福崎区間供用開始 ⑤　昭和49年９月９日　（第２回変更） 線　路　名　県道姫路神崎線 区　　間　姫路市砥堀から 神崎郡神崎町今西まで 延　　長　30.1km 事　業　費　240億円 料　　金　普通車　450円 （砥堀～福崎 150円、 福崎～加納 200円、 加納～今西 100円） 料金徴収期間　砥堀～福崎区間供用開始の日 から30年間 供用開始予定　昭和54年４月１日（全線）	①　昭和47年12月16日　（当初許可） 路　線　名　県道姫路市川線 区　　間　姫路市的形町的形から 姫路市豊富町御蔭まで 延　　長　9,6km 事　業　費　220億円 料　　金　普通車　200円 （御蔭～上原田 100円、 上原田～大鳥 100円） 料金徴収期間　供用開始の日から30年間 供用開始予定　昭和51年４月１日 （御蔭～上原田区間） 昭和54年４月１日（全区間）

播但連絡道路（１，３，４，５期）	**播但連絡道路（２期）**
⑥　昭和50年11月１日　福崎～屋形区間供用開始	
⑦　昭和53年５月13日　（第３回変更） 区　　間　姫路市砥堀から 神崎郡神崎町大山まで 事　業　費　254億円 料　　金　普通車　600円 （砥堀～福崎 200円、 福崎～市川 250円、 市川～神崎 150円） 料金徴収期間　砥堀～福崎区間供用開始の日から34年間 供用開始予定　昭和57年４月１日（全線）	②　昭和54年７月９日（第１回変更） 路　線　名　一般国道312号 事　業　費　290億円 料　　金　普通車　300円 （御蔭～上原田 150円、 上原田～大鳥 150円） 供用開始予定　昭和55年４月１日 （御蔭～上原田区間） 昭和60年４月１日（全区間）
⑧　昭和55年２月14日　（路線名のみ変更） 路　線　名　一般国道312号	
⑨　昭和56年３月24日　（第４回変更） 事　業　費　273億9,000万円 料金徴収期間　砥堀～福崎区間供用開始の日から35年間 供用開始予定　昭和57年11月１日（全線）	③　昭和56年１月13日 御蔭～上原田区間供用開始
⑩　昭和57年９月28日　屋形～大山区間供用開始	④　昭和59年４月26日（第２回変更） 事　業　費　310億円 供用開始予定　昭和60年12月1日（全区間） 料金徴収期間　御蔭～上原田区間供用開始の日から33年間
⑪　昭和60年12月18日　（第５回変更） 区　　間　姫路市砥堀から 朝来郡生野町円山まで 延　　長　38.3km 事　業　費　472億9,000万円 料　　金　普通車　750円 （福崎～ 神崎区間改築後） （砥堀～福崎 250円、 福崎～神崎南 300円、 神崎南～神崎北200円） 普通車　950円 （福崎～生野区間供用後） （砥堀～福崎 250円、 福崎～神崎南 300円、 神崎南～生野 400円）	⑤　昭和60年12月７日　全区間供用開始

播但連絡道路（１，３，４，５期）	**播但連絡道路（２期）**
料金徴収期間　砥堀～福崎区間供用開始の日から40年間 供用開始予定　平成元年４月１日 （福崎～神崎区間改築） 平成２年10月１日 （神崎～生野区間） ⑫　昭和62年６月11日　福崎～神崎区間改築のうち福崎工区供用開始 ⑬　昭和63年11月１日　福崎～神崎区間改築のうち西川辺工区、屋形工区及び吉富工区供用開始 ⑭　平成元年３月28日 料　　金　普通車　770円 （砥堀～福崎 260円、 福崎～神崎南 310円、 神崎南～神崎北200円） 普通車　970円 （神崎～生野区間改築後） （砥堀～福崎 260円、 福崎～神崎南 310円、 神崎南～生野 400円） ⑮　平成３年２月８日(第６回変更) 事　業　費　488億9,000万円 供用開始予定　平成４年４月１日 （神崎～生野区間） ⑯　平成４年３月26日　神崎～生野区間供用開始	⑥　平成元年３月28日 料　　金　普通車（現行どおり） 大型車Ⅰ、大型車Ⅱにおいて料金改定 ⑦　平成２年６月14日（第３回変更－４車拡幅） 事　業　費　415億円 料金徴収期間　御蔭～上原田区間供用開始の日から35年間 供用開始予定　平成５年４月１日 ⑧　平成４年12月25日　（第４回変更） 事　業　費　420億円 供用開始予定　平成６年４月１日 ⑨　平成５年７月23日　供用開始（４車拡幅） ⑩　平成６年３月24日　豊富ランプ供用開始
播但連絡道路・播但連絡道路（２期）	
1　平成６年７月29日（播但・播但２期プール当初許可） 路　線　名　一般国道312号 延　　長　65.1km 事　業　費　1,623億9,000万円 料　　金　普通車　2,000円	

料金徴収期間　平成６年８月１日から平成33年10月31日まで

播但連絡道路（１，３，４，５期）	播但連絡道路（２期）
⑰　平成６年７月29日（第７回変更－播但・播但２期プール、延伸及び対距離料金制への移行） 区　　間　姫路市砥堀から 朝来郡和田山町加都まで 延　　長　55.5km 事　業　費　1,173億9,000万円 料　　金　普通車　1,700円 （生野～和田山区間供用後） 供用開始予定　平成12年４月１日	⑩　平成６年７月29日（第５回変更－播但・播但２期プール及び対距離料金制への移行） 事　業　費　450億円 料　　金　普通車　300円 供用開始予定　平成12年４月１日

2　平成11年２月22日（播但・播但２期プール第１回変更）
事　業　費　1,808億9,000万円
料金徴収期間　換算起算日から35年以内とする

播但連絡道路（１，３，４，５期）	播但連絡道路（２期）
⑱　平成11年２月22日（第８回変更） 事　業　費　1,358億9,000万円 供用開始予定　平成12年10月1日 ⑲　平成12年５月27日 供用開始（生野～和田山区間） 対距離料金制実施 料　　金　普通車　1,700円（砥堀～和田山区間） ⑳　平成12年９月25日 供用開始（生野北第１ランプ）	⑪　平成11年２月22日（第６回変更） 供用開始予定　平成12年10月１日 ⑫　平成12年５月27日対距離料金制実施 料　　金　普通車　300円

播但連絡道路・播但連絡道路（２期）

3　平成14年７月９日（播但・播但２期プール第２回変更）
料　　金　ＥＴＣ前納割引１割４分以内を導入

4　平成18年４月18日（播但・播但２期プール第３回変更）
料　　金　普通車　1,400円　ＥＴＣ通勤時間帯２割引を導入
料金徴収期間　換算起算日から40年以内とする

播但連絡道路（１，３，４，５期）	播但連絡道路（２期）
㉑　平成19年７月20日（第９回変更） 事　業　費　1,368億1,900万円 供用開始予定　平成21年４月１日	⑬　平成19年７月20日（第７回変更） 事　業　費　455億7,100万円 供用開始予定　平成21年４月１日
㉒　平成21年２月５日（第10回変更）	⑭　平成21年２月５日（第８回変更）

事　業　費　1,365億2,723万円 供用開始予定　平成21年３月27日	事　業　費　456億5,877万円 供用開始予定　平成21年３月27日
㉓　平成26年３月27日（第11回変更） 料　　金　普通車　1,180円 （砥堀～和田山間）	⑲　平成26年３月27日（第９回変更） 料　　金　普通車　210円
播但連絡道路・播但連絡道路（２期）	
5　平成27年３月26日（播但・播但２期プール第４回変更） 料　　金　休日全線割引４割引　休日割引３割引　深夜割引３割引を導入 通勤時間帯割引２割引から３割引へ拡大	

2　遠阪トンネル

目　　的　　但馬地方と丹波、阪神地方を結ぶ国道427号の難所、遠阪峠を北近畿豊岡自動車道と一体となってトンネルでバイパスし、産業の発展と観光振興を図り、住民の福祉の増進に寄与する。

路　線　名　　一般国道483号

区　　間　　朝来市山東町柴から丹波市青垣町遠阪まで

延　　長　　4.7㎞（内トンネル2.6㎞）

事　業　費　　111億2,000万円

（内　訳）

（単位：千円）

政府貸付金	県出資金	公営企業金融公庫借入金	民間借入金等	合計
2,582,000	1,607,000	2,204,500	4,726,500	11,120,000

設計速度　　80㎞/h

車道の幅員　　7.0m（２車線）

道路の規格　　第１種第３級

路面の種類　　道　路　部－アスファルトコンクリート舗装

トンネル部－セメントコンクリート舗装

許可年月日　　昭和48年６月20日

建設期間　　昭和48年度から昭和52年度まで

（改築工事　平成15年度から平成18年度まで）

供用開始　　昭和52年５月25日

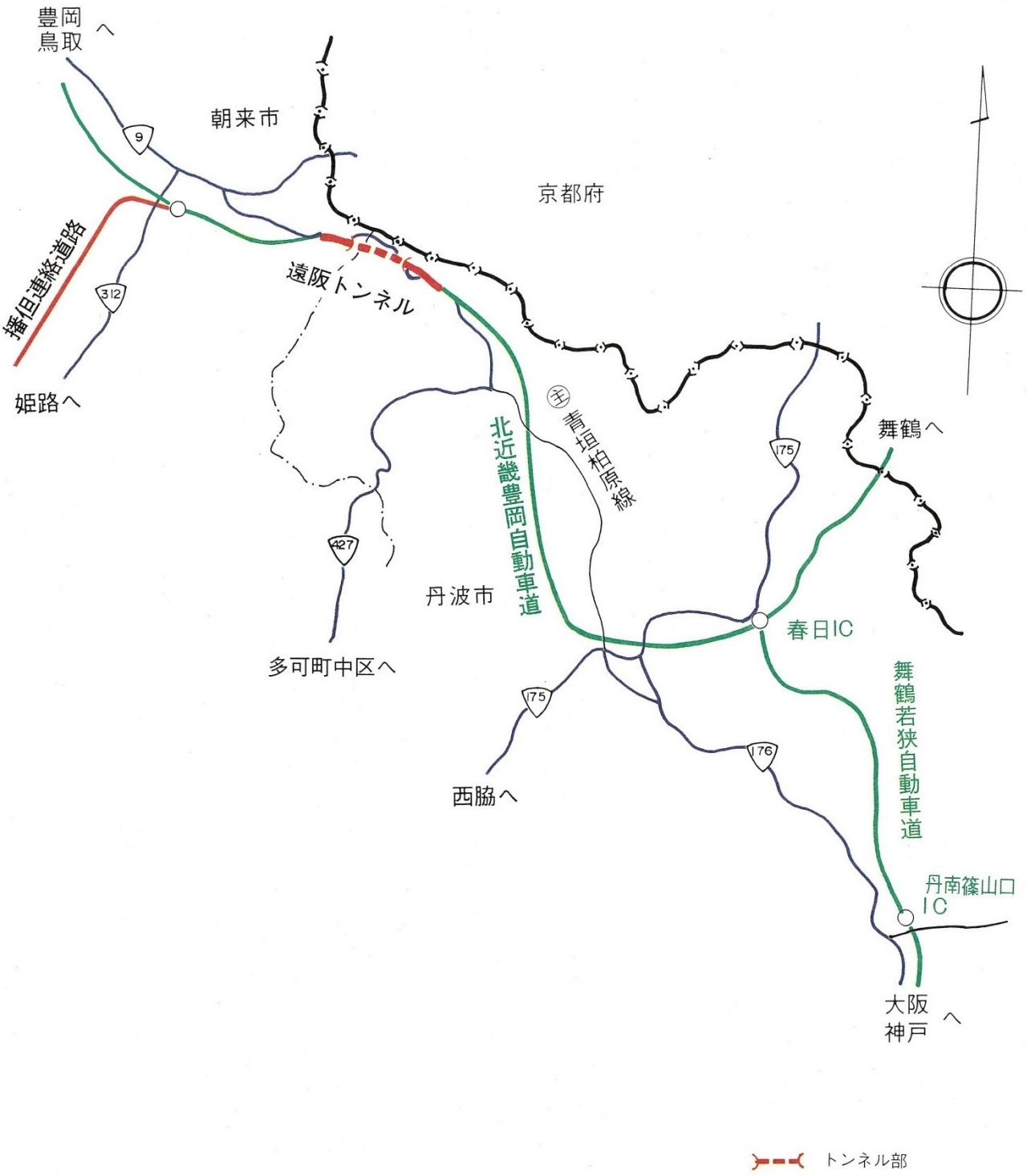
徴収期間　　昭和52年５月25日から平成38年１月18日まで（換算起算日から40年）

適用法令　　道路整備特別措置法

料　　金

車種区分	料金
普通車	３１０円

中　　型　　車	３６０円
大　　型　　車	５１０円
特　　大　　車	８７０円
軽　自　動　車　等	２１０円


豊岡
鳥取 へ
朝来市
9
京都府
播但連絡道路
312
遠阪トンネル
姫路へ
北近畿豊岡自動車道
(主)青垣柏原線
舞鶴へ
175
427
丹波市
春日IC
多可町中区へ
175
176
舞鶴若狭自動車道
西脇へ
丹南篠山口
IC
大阪
神戸 へ
トンネル部

沿　　革

① 昭和48年６月20日（当初許可）
　路　線　名　　県道山東柏原線
　区　　間　　朝来郡山東町柴から氷上郡青垣町和田まで
　延　　長　　4.7㎞
　事　業　費　　55億円
　料　　金　　普通車　300円
　料金徴収期間　　供用開始の日から30年間
　供用開始予定　　昭和52年４月１日
② 昭和50年11月14日（第１回変更）
　事　業　費　　80億円
　料　　金　　普通車　350円
　供用開始予定　　昭和52年10月１日
③ 昭和52年５月25日　供用開始
④ 昭和52年10月26日（第２回変更）
　区　　間　　朝来郡山東町柴から氷上郡青垣町遠阪まで
　事　業　費　　78億2,000万円
⑤ 昭和57年10月29日（路線名のみ変更）
　路　線　名　　一般国道427号
⑥ 平成元年３月28日
　料　　金　　普通車　360円
⑦ 平成15年８月６日（第３回変更）
　事　業　費　　113億2,000万円
　料　　金　　普通車　300円（改築整備区間の供用の日から）
　料金徴収期間　　換算起算日から40年以内
　供用開始予定　　平成18年４月１日（改築整備区間）
⑧ 平成17年12月14日（工期のみ変更）
　供用開始予定　　平成18年10月１日（改築整備区間）
⑨ 平成18年４月18日（第４回変更）
　事　業　費　　111億2,000万円
⑩ 平成18年６月９日（工期及び収支予算の明細を変更）
　供用開始予定　　平成18年７月22日（改築整備区間）
⑪ 平成18年７月22日　供用開始
　路　線　名　　一般国道483号
⑫ 平成26年３月27日（第５回変更）

料　　金　　普通車　310円

3　西宮北道路

目　　的　　西宮市の南北を結ぶ県道大沢西宮線において、最も隘路となっている峠部をトンネルでバイパスし、交通利便の増進と産業経済の発展及び住民福祉の向上に寄与する。

路　線　名　　県道大沢西宮線

区　　間　　西宮市山口町船坂から同市越水まで

延　　長　　4.3km（内トンネル1.7km）

事　業　費　　128億円

（内　訳）

（単位：千円）

政府貸付金	県出資金	県貸付金	公営企業金融公庫借入金等	市貸付金	合　計
4,780,000	3,265,000	2,025,000	1,515,000	1,215,000	12,800,000

設計速度　　50km/h・40km/h（南伸区間）

車道の幅員　　6.0m（２車線）

道路の規格　　第３種第３級

路面の種類　　道　路　部－アスファルトコンクリート舗装

トンネル部－セメントコンクリート舗装

許可年月日　　昭和62年７月20日

建設期間　　昭和62年度から平成２年度まで

平成12年度から平成15年度まで

供用開始　　平成３年３月25日（盤滝トンネル区間）

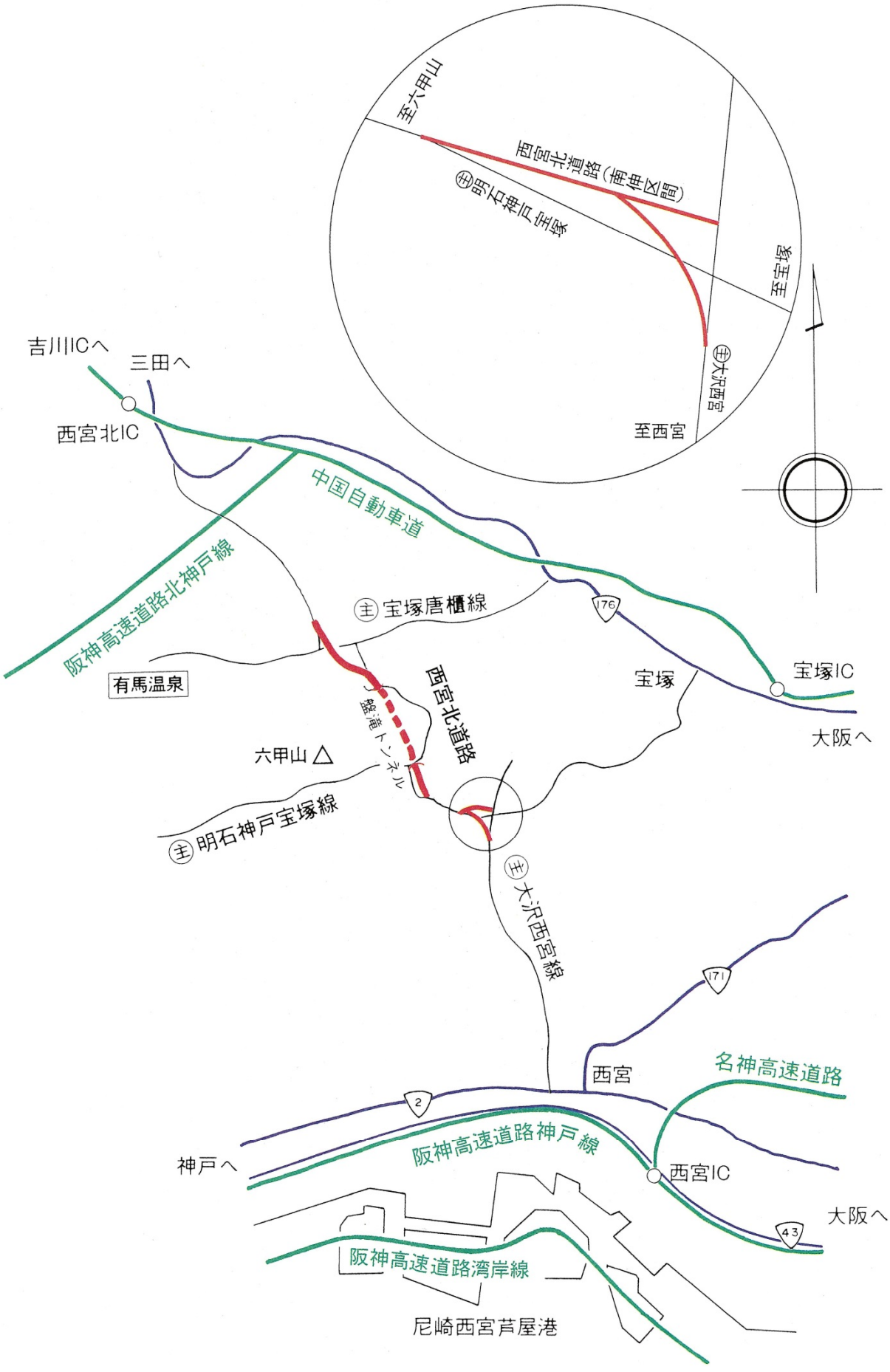
平成16年３月27日（南伸区間）

徴収期間　　平成３年３月25日から平成33年３月24日まで

適用法令　　道路整備特別措置法

料　　金

車種区分	料　金
普通車	２５０円
大型車 ⑴	４１０円
大型車 ⑵	９３０円
軽自動車等	２００円
軽車両等	３０円


至六甲山
西宮北道路（橋梁区間）
(主)西宮山口線
至宝塚
(主)大沢西宮
至西宮
吉川ICへ
三田へ
西宮北IC
中国自動車道
阪神高速道路北神戸線
(主)宝塚唐櫃線
176
有馬温泉
西宮北道路
盤滝トンネル
宝塚
宝塚IC
大阪へ
六甲山
(主)明石神戸宝塚線
(主)大沢西宮線
171
西宮
名神高速道路
2
阪神高速道路神戸線
神戸へ
西宮IC
大阪へ
43
阪神高速道路湾岸線
尼崎西宮芦屋港
トンネル部

沿　　革

① 昭和62年７月20日（当初許可）

路　線　名	県道大沢西宮線
区　　間	西宮市山口町船坂から西宮市越水まで
延　　長	3.5km
事　業　費	81億円
料　　金	普通車　250円
料金徴収期間	供用開始の日から30年間
供用開始予定	平成３年４月１日

② 平成３年３月25日　供用開始（盤滝トンネル区間）

③ 平成12年７月24日（第１回変更）

延　　長	4.3km（南伸区間0.8km）
事　業　費	135億円
供用開始予定	平成16年４月１日（南伸区間）

④ 平成16年１月21日（第２回変更）

事　業　費	128億円
供用開始予定	平成16年３月27日（南伸区間）

⑤ 平成16年３月27日　供用開始（南伸区間）

⑥ 平成26年３月27日（第３回変更）

料　　金	普通車（現行どおり）
	大型車⑴、大型車⑵において料金改定

4　サービスエリア及びパーキングエリア

⑴　サービスエリア

施　設　名		市川サービスエリア	朝来サービスエリア
関係道路名		播但連絡道路	播但連絡道路
所在地		神崎郡市川町屋形	朝来市岩津
事業費		５億４００万円	１０億３，８２０万円
施設内容		レストラン、売店、休憩情報コーナー、カフェテラス、展望デッキ、自動販売機、トイレ、公衆電話等	展望レストラン、ふるさと物産販売コーナー、情報コーナー、休憩コーナー、自動販売機、トイレ、公衆電話、電気自動車用急速充電器等
運営方法		営業委託	第三セクター
供用開始	南行	昭和58年７月23日 （増改築）昭和63年４月16日 （増改築）平成17年３月25日 （増改築）平成25年８月８日	平成12年５月27日
	北行	昭和52年６月17日 （増改築）昭和63年12月18日 （新　築）平成12年４月19日 （増改築）平成25年８月８日	平成12年５月27日
駐車台数	南行	小型　29台、　大型　６台	小型　51台、　大型　21台
	北行	小型　38台、　大型　10台	小型　26台、　大型　６台

⑵　パーキングエリア

施　設　名		豊富パーキングエリア	和田山パーキングエリア（上り）
関係道路名		播但連絡道路	播但連絡道路
所在地		姫路市豊富町御蔭	朝来市和田山町久世田
事業費		４億４９０万円	４億２，８９４万円
施設内容		軽食コーナー（南行H28.4.29より）、屋台（北行H28.6.16より）、自動販売機、トイレ、公衆電話等	自動販売機（H28.5.26より）、トイレ等
運営方法		営業委託	直営
供用開始	南行	昭和61年８月１日 （増改築）平成７年３月30日	平成12年５月27日
	北行	昭和61年８月１日 （増改築）平成６年３月24日	平成12年５月27日
駐車台数	南行	小型　32台、　大型　12台	小型　11台、　大型　5台
	北行	小型　30台、　大型　10台	